



## 京大合唱団でつながる

太田 茂之 (H17年卒)

なんでこの合唱団はこんなにも面倒くさいシステムをとっているのだ。長い話し合いをし、解決しようがない問題に対する議論を展開する。そしてそこに集まるのは、考え方がバラバラな人間。本当にこの人たちと一年間を一緒にやっていけるのだろうか…

このような不安から始まった私の現役時代。現在の京大合唱団は全盛期から徐々に人間が減り、100人に満たなくなってきました。一回生のときから2年を合唱団で過ごし、様々な音楽に出会いながら私が強く感じたのは、合唱は人間がいないとできないということでした。歌い手が多いほど、できる音楽の選択の幅は広がり、いろいろな音楽に出会えるという意味で、自由な音楽をできる場になっていく。京大合唱団はこのような自由な音楽ができる場であり、そこが魅力であり強みであると思います。人数が多いとももちろん、いろいろな意見が出てぶつかりも激しくなります。しかし、そこを乗り越え、様々な人間が集えるということは団体として非常に活発に動ける状態であると思います。そのようなことを夢にみて私は責任回生のとき、混声指揮者として一年間団にかかわりました。歌う目的は人それぞれ違うのが当たり前です。それゆえに多くの人とぶつかり合いながら過ごした一年でした。今思えば、一年という瞬間、点で私たちは活動していたのだと思います。責任回生としての定期演奏会が終わってから一年後、二年後の後輩のやる音楽を聴き、点を結んだ線上

に私たちが作った時代があり、流れが続いているのだということを強く感じました。

定期演奏会が終わってからも音楽に対しての気持ち覚めなかったので、Ensemble Reedという私の少し上の先輩方が創った男声合唱団に所属することになりました。京大合唱団のフレキシブルさを残している団体で、ゆえに大変なことも多いのですが、本当にいろいろな音楽をできる場なので非常に有意義な団体だと思います。現役のときは一緒に歌うことのなかった先輩方と一緒にステージを共にし、また私たちが責任回生として運営していた時の後輩とも再び歌えるということは何ともうれしいことだと思いました。

そして今年に入り、現合唱団顧問の加藤文元氏による熱烈なアプローチ(脅迫? いえいえあくまでアプローチ)とビールで培った絆(腐れ縁)のもと、同窓会合唱団に顔を出すようになりました。そこはさらに多くの年齢層の方が集う場所であり、同じ時を生きただけでは決してないのだけれど、ともに集えば共通の「おながく」を共有することができる。歌の力によって簡単に世代を超えることができるのだということを改めて感じました。同窓会合唱団は京大合唱団という合唱団によって共通の歌を歌うことができ、盃を交わすことができる。このことは非常に幸せなことであると思います。今後もより多くの人と共にこの幸せを感じることができることを祈って今後も歌っていきたいと考えています。

## ♪ 京大合唱団 第80回定期演奏会 ♪

- ◆ 時 : 2009年12月6日(日)
- ◆ 所 : 文化パーク城陽プラムホール
- ◆ 公式HP : <http://kuc.web.infoseek.co.jp/>
- ◆ 連絡先 : 京大合唱団総務 本庄弘樹 Tel:080-5214-8041 [ponyo-on-the-cliff@ezweb.ne.jp](mailto:ponyo-on-the-cliff@ezweb.ne.jp)  
森 香織 Tel:090-2121-5744 [carry-carry-2121@docomo.ne.jp](mailto:carry-carry-2121@docomo.ne.jp)

2009  
卒団生が語る京大合唱団

—感慨を込めて—

全力を尽くした先にあるもの

2007年度 混声指揮者 伊藤 剛士

音楽にしる、団にしる、明確な完成形というものがない。だからこそ私たちは「どんな音楽・団を創りたいか」といったことを、全員が納得いくまでとことん話し合った。卒団した今になって思うが、時間を気にせず仲間と理想をどこまでも追求できる環境というのはまさに学生の特権だった。社会に出たら有限の時間の中でできる最大のものを求められる。しかし学生の私たちには「時間」なんて感覚はなかった。常にベストを尽くそうとし、皆で泣き・笑いあった濃い日々。こんな経験二度とできまい。

4年間が終わり得たものは、一生の付き合いになる素晴らしい仲間たち、一生心に残る輝かしい思い出の数々、そして人を愛する心。

ありがとう、京大合唱団。

卒団して思うこと

2007年度 総務 秦 玲子

「京大合唱団」を思うと、日常の中に、いくつもの大好きなシーンがありました。ボックスの扉を開けて入った瞬間の風景。鍵が開いていると「中に誰がいるのだろう」とちょっとドキドキしながら手を伸ばして、戸を開けると、そこにはやはりいつものボックスがあり、いつもの顔がありました。団員が輪になって愛唱歌を歌っている時。本当に楽しそうに、嬉しそうに歌っている。「こいつらいいやつだなあ」と、なんだか嬉しくなったのを憶えています。

京大合唱団は、私の大学生活そのものでした。4年間、本当に楽しませていただきました。時に呆れながらも、不甲斐ない私を助け、叱咤し、一緒に楽しんでくれたみんなに感謝しています。京大合唱団を作ってきてくださった先達の皆様にも。

これからも京大合唱団があり続けることを、心から祈っています。

現団中期演奏会

Joint Concert' 09 ～謳歌三舞会～

- ◆ 日：2009年8月8日(土) 開場:17時00分 開演:17時30分
- ◆ 所：めぐろパーシモンホール大ホール ◆ 入場料 1000円

今年、京都大学男声合唱団は、横浜国立大学グリークラブ、岡山大学男声合唱団コール・ロータスの三団で夏に東京で演奏会を開く運びとなりました。京男の単独ステージでは、「今でも…ローセキは魔法の杖」を、三団での合同ステージでは、伊東恵司さんを客演指揮者に迎え「くちびるに歌を」を歌いますので、ぜひお越しください。

京都フラウエンコールSummer Concert'09

- ◆ 日：2009年8月2日(日) 開場・開演時間未定
- ◆ 所：福知山市立中央公民館市民ホール
- ◆ 入場料：無料 ◆ 指揮：成田健一



・1st stage 夏の思い出 ・2nd stage 谷川俊太郎ステージ ・3rd stage ジブリスステージ

1stと3rdでは「夏の思い出」「ジブリスステージ」と題しまして、子供から大人まで楽しめる曲をお届けいたします。

また、2ndでは谷川俊太郎作詩の曲を演奏いたします。爽やかな演奏会となりますので、ぜひ足をお運びください！



### 入団まで

S15年九州大学病院で生を受けた。小学時代は近くの貸し本屋や図書館に日参、真田幸村や猿飛佐助の講談本に熱中。その頃よく停電があつたが、か細い灯りを頼りに夢中で読んだ。お

金がないのでその日のうちに返本する必要がある(笑)。中学になるとスタンダールの「赤と黒」、バルザックの「谷間のゆり」などに進んだ。私の語学力、漢字力はこの時できたと思う。抽象的な記号でしかない字とひとの心との関係だね。受験勉強は「傾向と対策」を1ヶ月、2〜3回読んだだけ。国語、化学、生物には自信があつたが、数学はさっぱり。発表の日の夕方、不合格を覚悟で結果を見に行った。周りにはもう誰もいない。一人掲示板を見上げるとそこに自分の受験番号があるではないか(笑)。

### 在団当時

S33年入学、暫くヨット部に入部し、6月合唱団に入団した。DGKの活動や演奏旅行、九州(S34.3)、京都府下(S35.3)、山陽(S36.3)、四国(S37.3)など思い出が多い。渉外は団の花形で、演奏旅行のマネージメントはその重要な任務。テープレコーダーを携え、現地の人に演奏を聞いてもらい、演奏会を設定する。S36年12月3日京都府会館第1ホールでの多田武彦「父のある庭」の初演、「紀の国」冒頭のソロは私です(!)。当時ブラウエンには社会人の方が1/3程いて、学生だけの身勝手な考えをししばしば批判されました。厳しい方、きれいな方、かわいい方、いろんな女性がいました。下宿は銀閣寺近く、つめ入りの学生服に下駄履きで電車路を歩き、近衛の学生集会所に来ればそこが私の世界。文学部には2浪、3浪のつわものもいて、既に背広を着、何か違和感がある。授業

は林屋辰三郎教授の日本史だけ。7年目になり、ようやく卒論を提出した。「明治維新における民族主義の諸問題」。どのような内容だったか、出来れば確認したいなあ。

### 新聞記者からテレビキャスターへ

授業にまともに出ていないので、成績証明が必要な会社への就職はまず無理。幸い毎日新聞は要らないことが分かった。採用試験の日、グループディスカッションがあつた。8名が与えられたテーマで議論をする。テーマは「首相公選制」。自分の意見を述べ、他のメンバーの意見を含めて議論を深めていく。オリジナリティと調和が求められる。突然のことで皆、あわてている。私は「しめた」と思った。これこそ合唱団の7年間、年がら年中やり、体で学んだことではないか。無事入社しこの仕事は自分に合っていることが分かった。その後、新聞記者、テレビキャスターと一直線に進み、2001年には桶川市女子大生ストーカー事件の調査報道で日本記者クラブ賞を受けた。私は70周年誌に「京大合唱団卒」と書きました。この理由が分かって頂けると幸いです。

### 同窓会について

同窓会は、多くのひとの力で、世代を超え託し託され受け継いでいくもの。中でも私の世代のメンバーは結束が強く、常に集まり話が弾みます。秋の園遊会を楽しみにしています。

インタビュー・文 石動敬子(S48年卒)





# 2008年度収支報告



(会計担当幹事：百々啓子)

## 【一般会計】

当年度会計期間：2008年4月1日～2009年3月31日

収入	金額(円)	支出(内訳)	金額(円)	内訳金額(円)
2008年度会費	829,000	同窓会通信発行費	404,312	
		(印刷、コピー費)		188,166
古文書プロジェクト費用	4,340	(郵送、運送費)		194,200
(資金取崩収入)		(事務用品費)		1,601
		(その他一般経費)		20,345
75周年記念DVD(資金取崩収入)	10,000	同窓会通信外の送料、手数料	1,790	
		ホームページ維持管理費	80,000	
70年誌1冊 販売収入	1,200	幹事会合費	32,184	
		(会場費)		12,810
寄付・利子収入	4,838	(その他資料作成、一般経費)		19,374
		郵便払込手数料	36,490	
		現団活動支援費(定演プログラム広告)	40,000	
		追加名簿印刷費用	18,797	
		古文書プロジェクト費用	4,340	
		75周年記念DVD公的提供分 4枚	10,000	
		<b>剰余金(資金へ繰入)</b>	<b>221,465</b>	
合 計	849,378	合 計	849,378	

## 【資金収支】

摘要	金額(円)	内 訳	内訳金額(円)
2007年度資金残高	3,931,119		
前受金		2007年度以前入金、2009年度以降会費	796,000
会費収入		2007年度以前入金、2008年度会費.....①	489,000
繰越金		2007年度以前入金、過年度会費を含む	2,646,119
2008年度入金会費	903,000		
前受金		2009年度以降会費	354,000
会費収入		2008年度会費.....②	340,000
過年度分		過年度会費	209,000
<b>一般会計剰余金</b>	<b>221,465</b>		
収入合計	5,055,584		
支 出			
会費支出	829,000	2008年度分会費一般会計へ.....①+②	
取崩支出	4,340	古文書プロジェクト保存用CD-R費用として一般会計へ	
取崩支出	10,000	75周年記念DVD(データ提供4団体に贈呈)費用として一般会計へ	
支出合計	843,340		
<b>* 残 高</b>	<b>4,212,244</b>		

\* 残高(4,212,244円)の内訳

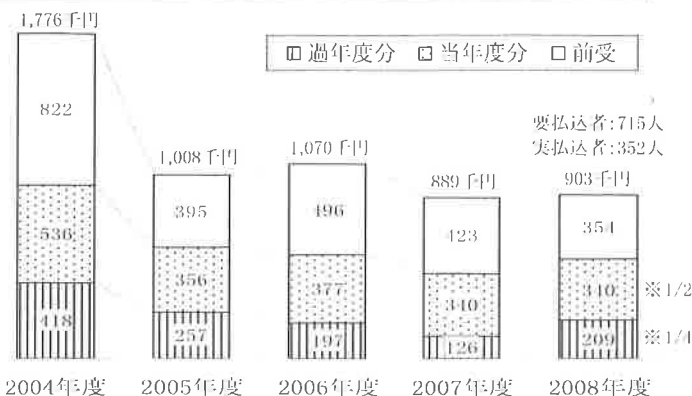
- ・前受金(2009年度会費) 427,000円
- ・前受金(2010年度以降会費) 723,000円
- ・純粋の資金残高 3,062,244円

### ◆2008年度決算レビュー

- ・古文書PJ音源CD-R費用及び75周年記念DVD贈呈費用、計14千円強を資金を取崩し充当した。
- ・一般会計では、追加名簿の印刷に約19千円を支出したが、剰余金221千円を確保した結果、資金残高は対前年比281千円増となった。(純粋の資金残高は対前年比416千円増)
- ・左図に見る通り入金が2007年度以降、1,000千円の大台を割り込み、減少傾向が続いている。2008年度の入金を卒団年代別にみると、昭和/平成年代卒では80/20%となっている。
- ・2008年度の入金割合は、要払込者715人の満額払込額と対比すると、※印の如く当年度分で1/2、過年度分で1/4と低迷しており、みなさまの更なる会費納入へのご協力をお願いします。

(代表幹事/会計担当幹事)

### 年度別 過年度分/当年度分/前受会費 入金推移



会計監査を実施した結果、会計帳簿の処理は適切であり、上記報告書は適正に作成されていることを報告いたします。

平成21年5月20日 会計監査 南平哲郎

## 同窓生が活躍する！

### アルマ・マータ・クワイアの紹介と定期演奏会



京大合唱団も80年近い歴史を重ねた今日、「アルマ」と云ってもご存知ない諸兄姉が増えていると思う。アルマは1947年7月、戦禍の跡まだ癒えない大阪で、9人の京大男声OBにより呱呱の声をあげた。以後、出身にこだわらず一般合唱団として発展し、やや高齢化したものの60人の団員を擁して活発に活動を続けている。1997第37回定演年以來会場は大阪・いずみホールで、また第40回定演以來、二人の団内指揮者のほか東京混声合唱団桂冠指揮者田中信昭先生を客演指揮者に迎えている。

昨年12月7日の第47回定期演奏会では、創立60周年を記念してわれらの先輩作曲家多田武彦氏に委嘱した新作・男声合唱組曲「春のいそぎ」(伊東静雄詩)を上床博久氏(1969年卒団)の指揮により初演。

第48回は本年12月6日にいずみホールで、上床氏指揮によりR. シュトラウス「愛の詩集」、鮎川伸夫氏(1965年卒団)指揮により「ロシア民謡集」、田中信昭氏指揮により林光編曲「日本抒情歌曲集」を歌う。同窓諸兄姉のご来場を歓迎します。  
代表 増田 博(S35年卒)

### こおる・ふうるん 女声合唱団 第6回演奏会



- |                           |              |                  |
|---------------------------|--------------|------------------|
| 1. 愛の詩集                   |              | 松下 耕 作曲          |
| 2. Five Hebrew Love Songs | ヴァイオリン：武藤 礼  | Eric Whitacre 作曲 |
| 3. <吉村信良先生によせて>           | ゲスト：新実 徳英 先生 |                  |
| 火の山の子守歌                   | ねむの木震ふ 鳥が    | 新実 徳英 作曲         |
| 4. TOKYO物語                |              | 猪間 道明 編曲         |

◆指揮 永井英晴 ◆ピアノ 平林知子

◆2010年5月15日(土) 2:00P.M.開演(1:30P.M.開場) ◆京都コンサートホール小ホール

◆お問い合わせ/TEL・FAX 0794-84-1279 松浦

今回の演奏会で創立18年目を迎えます。長年顧問としてお世話になって参りました吉村信良先生が3月末に亡くなられ、その追悼の気持ちも込めて「吉村先生によせて」と題したステージを設けます。

新実徳英先生をお招きして、吉村先生にアンコールで振って頂いた新実徳英先生の曲を、指揮とお話を交えながら歌います。

みなさま方のご来場をお待ちしています。

代表 松浦溥恵(S45年卒)

### Ensemble Voce「ヨハネ受難曲」演奏会



Ensemble Voceは今秋11月22日(日)午後3時より、びわ湖ホール・大ホールで、J.S.Bach曲「ヨハネ受難曲」による第7回演奏会を開催します。

詳細は、百々隆氏(S48年卒)のバッハ研究記事が好評な当団のHP <http://www.prmvr.jp/EnsembleVoce/> をご覧下さい。

当団はオケと合唱団を一体とした音楽集団を目指し、1996年1月に京大合唱団昭和40～50年卒団OB中心に結成され、宗教曲をメインレパとして活動してきました。代表の村林康恵氏が昨年倒れられ、演奏会開催も危ぶまれましたが、合唱団員80人の1/3が京大合唱団OBという団結力の強みが創立以來の指揮者 五味建氏を支えています。

皆様方のご来場をお待ちしています。

代表代行 文珠義之(S39年卒)

## 多摩男声合唱団

S45年卒 指揮者 高木 秀雄

1973年、入居が始まった東京・多摩ニュータウンの住民を中心に創立されました。私も含め皆若くこの地に新しい文化運動を育てようという熱意に溢れていました。始めの頃は練習参加人数が少なく苦労しましたが、最近は団員約40名と何とか安定した合唱が出来ようになりました。隔年毎に演奏会を開催していますが、固定ファンも増えて毎回千名以上のお客様に聴いて頂いています。

我々の演奏会の特徴の一つに演奏コンセプトテーマを全員で喧々譁々議論して決めるというのがあります。ここ最近「平和への願いを21世紀に」(寺島尚彦作品集)、「ヨーロッパに思いを馳せて」(デュオーパのミサ、ショスタコ:十の詩曲)、「日本のそして韓国の心を唄います」(小林秀雄作品集、韓国男声曲)と続いて、そして今回は「恋う心をいつまでも」をテーマに、シューマンの「詩人の恋」や日本の「ラヂオの時代」を歌いました。

この先何をテーマに歌うのか? それを探すために、私自身は一昨年から昭和音大の合唱指導者コースの学生になり、すこし上のレベルにチャレンジしているところです。

連絡先: 042-676-6349(高木)  
URL: <http://tamadan.com/>

## 女声合唱団 コーロ・コスモス

S30年卒 今西 茂子

永年コーラスを続けているうちに声が出にくくなり悩んでいるときに、我が家に近い合唱センターの発声講座を知って受講したのが、コーロ・コスモス指揮者鈴木茂明先生との出会いでした。

コーロ・コスモスは1992年に鈴木先生の元で結成されました。自在に音楽表現が出来るように発声法を学び、詩と音楽の融合である作品に演奏することで命を吹き込むという先生の理念に沿って練習に励んでいます。団員は27名、50代~70代。発声練習は毎回たっぷり1時間。体から自然にわきあがる無理のない発声を体得して80才を超えても歌い続けようと希いながら…。

レパートリーはドイツ、イタリア、フランスの歌曲、高田三郎作品等で演奏会は隔年です。

鈴木先生は高田三郎合唱曲に強くひかれて、作曲家自身に20余年指揮演奏法を師事、その演奏に努めています。先生指揮の5団体合同で毎年、高田三郎作品の個展「リヒトクライス<光の輪>演奏会」を続け、今年1月30日に第15回を文京シビック大ホールで開催いたしました。

## 合唱団 巡り

### 関東その2

## 柏市民合唱団

S30年卒 松本 貞子

この混声合唱団は昭和32年に合唱講習後生まれ、一昨年 50周年記念コンサートをしました。

勤め人が多いので、暮とお正月を除く毎金曜日の夜7時から9時までの2時間練習しています。大正13年生まれの人たちが最年長です。

20年くらい前、ルーマニアへ演奏旅行、2001年7月柏市の姉妹都市カリフォルニアのトランスへ親善交歓演奏に行きました。

間もなく演奏会を控えており、目下練習に追われています。曲目は信長貴富編曲 美空ひばり作品集から「川の流れるように」「真赤な太陽」「お祭りマンボ」「愛燦燦」、混声合唱組曲「日曜日~ひとりぼっちの祈り」から「朝」「街で」「かえり道」「てがみ」「おやすみ」ミュージカルの「サウンド オブ ミュージック」「ドレミのうた」「ひとりぼっちの羊飼い」「すべての山に登れ」などです。「ひとりぼっちの羊飼い」などは早口で歌わなくてはならないので、滑舌をよくするよう、早口言葉の訓練中です。

## 男声合唱団 エルデ

S38年卒 会計 島戸 伸明

卒業以来、合唱活動からは40年も遠ざかっていましたが、4年前に小金井の自宅から1時間以内で通えるこの男声合唱団に入りました。

団員は、80歳代から高校生までの約40名で日野市近辺の人たちが中心ですが、遠くは埼玉県のほか都区部や中央線沿線の都市などからも豊田駅前の練習場集まります。ご多分にもれず高齢化が全曲暗譜、原語方針を危うくしたのが悩みの種です。毎週土曜日18時から21時までが通常練習日です。指揮者は国立音高の鹿内先生と慶応ワグネルの学生指揮者を務めた若い仲光先生の二人体制です。

定期演奏会では1,000人を超える聴衆を集め、男声合唱定番曲だけではなくバーバーショッパやミュージカルも加え、バラエティーに富んだプログラムに意欲的に取り組んでいます。今年の定演は9月13日(日)14時開演、日野市民ホールでシューベルトの男声合唱曲、高田三郎の「心の四季」、前田勝則氏のエレクトーンとのディズニー集、こぶくろの「蕾」などのj-popsの4ステージの予定です。お待ちしております。

## 地区に見る同窓会活動

### 関東

#### 第10回京大合唱団関東地区小同窓会報告

恒例の新春を寿ぐ成人の日、今年は記念すべき第10回目を迎えました。奇しくも同窓会発足後55年目に当たります。戦前卒団の大先輩から、凡そ還暦オーバーの若手シニアまでを含む90名が集いました。高齢者集団の筈ですが、日野原先生流の定義では、60歳代はジュニア、75歳以上が新老人(シニア)、100歳以上をグランドシニアと呼び、この小同窓会はどうやら若返りの会、元気をいただく会合のようです。現に9～10年間皆出席の大先輩は20人を超えます。いつの時代にも世の暗い影から隔離された和やかな集いであることを希っています。

来年も日野原先生のご出席を賜ります。2010年1月11日、12時から、アルカディア市ヶ谷にて。伊藤俊明(S35年卒)

### 中部

#### 第4回京大合唱団中部地区小同窓会報告

今年で連続4回目となる中部地区小同窓会を4月12日(日)JR名古屋駅構内にあるホテルのレストランにて開催しました。今まで以上に盛り上がった楽しいひと時でした、世話人一同はこれで毎年開催できると確信しました。

中部地区の特徴は参加者の年齢層が広いこと(今年は26年卒団から56年卒団まで)、参加者が約30人で一つにまとまりやすいこと、地の利から関東や関西からの参加者も多いこと、それに児玉たまきさん(S56年卒)という素晴らしいプロ歌手の歌が聴けることです。

来年からは4月第1週日曜日開催と定着させることにしました、今年と同じ会場を予約済みです。岩木真吾(S32年卒)

### 関西

#### 同窓会園遊会のご案内

昨年11月初めて園遊会を開催し好評を得ました。

今年の開催場所京都大学の清風荘(左京区田中関田町)は西園寺公望侯の別邸、美しい庭園がある数寄屋造りの建物です。本年の全学同窓会が開催される11月14日(土)10:00～13:00に開園をお願いしました。昼食は京大会館101号室、パーティ形式にて、費用5,000円。詳細は次回通信でお知らせします。

(発起人) 熊谷直英・八重子(S29)、鳥越俊太郎(S40)、石動正和(S48)、梅原節子(S53)、加藤文元(H3)

[http://www.kyoto-u.ac.jp/GAD/topic/data06/tpc061208\\_1/tpc061208\\_1.htm](http://www.kyoto-u.ac.jp/GAD/topic/data06/tpc061208_1/tpc061208_1.htm)

#### 吉村信良さん(S30卒)を偲ぶ

全日本合唱連盟名誉会長、同窓会合唱団団長吉村信良さんが、3月31日亡くなられました。吉村さんはS26年京都大学経済学部に入學、翌27年京大合唱団に入団、オペラ研究会などで活躍されました。卒団後はお仕事の傍ら、日本の合唱界の中で幅広く活躍され、H10年全日本合唱連盟理事長に就任。H9年人工透析生活に入られましたが、今年に入り大きく体調を崩され、最後の入院となりました。4月18日1000人を越える参列者により葬送式が営まれました。吉村さんの病床の近くにしたものとして慎んでご報告し、ご冥福をお祈りしたいと思います。

上床博久(S44年卒)

# お知らせとお願い

## 同窓会合唱団からの活動予定

2月14日の演奏会には、多数のご参加ご協力を頂きありがとうございました。

今後とも、同窓会員が楽しく歌える活動を支えて行きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

(混声) 団伊玖磨「筑後川」 上床博久(S44年卒)

(男声) 南弘明「月下の一群」 加藤文元(H3年卒)

(女声) 小林秀雄「落葉松」 岡本慶子(S52卒)

練習日程 6月21日(日)、7月19日(日)、8月22日(土)、9月20日(日)、10月12日(月祝)、11月23日(月祝)

13:00～17:00 前半:男女声、後半:混声 京都鴨沂会館

問い合わせ (総務) 梅景憲子 Tel:090-9862-0081 umenori-kyoto67@hb.tp1.jp

## 古文書プロジェクト (第IV報)

3月、現団ライブラリアン木下君から第50-54回および第56回定期演奏会を録音したLPレコードをボックスで発見と連絡あり、これも含めボックスに保管および会員から提供のあった演奏資料の内、再生可能分は全てデジタル化完了。テープ106巻、ソノシート1枚、LPレコード8件、カセット2巻、ならびにCD20枚分の演奏記録を整理し、演奏会毎にCD全73枚にまとめた。CD化された最古の演奏記録は第32回定演(1961)(ソノシート)、その次は第37回定演(1966)、最新は平成6年(1994)春の発表会、その一つ前は第56回定演(1985)。現在使用の機器では規格が合わずデジタル化未充分については、今後対応機器の提供を待って処理予定。 吉田郷弘(S34年卒)

## 幹事会体制の見直しについて

昨年11月、村林康恵代表幹事が倒れられ、現在入院加療中です。

村林成幹事から4月の幹事会にお二人の辞任の申し出がありました。これまで同窓会運営に中心的役割を果たしてこられたお二人の辞任は同窓会にとって大きな痛手ですが、お申し出を受け入れました。

お二人のご尽力に衷心より感謝すると共に、村林康恵さんの一日も早い回復をお祈りします。

この事態への対応ですが、当面幹事会でお二人の業務を分担することにしました。村林成さんが担当されていた業務に同窓会ホームページとメールアドレスの維持・管理がありますが、ホームページについては、新たに立ち上げることで、暫定版を作成中です。まだコンテンツは整っておりませんが、次第に充実させて参ります。

なお「幹事会」のページに入るにはパスワードが必要です。

新規ホームページ <http://www.eonet.ne.jp/~kuc-dosokai/>

また、事務局機能の拠点を村林康恵代表幹事宅としておりましたが、今後は伊藤代表幹事宅とし、本通信送付の封筒の下段に記しております。

なお、ご意見やお問い合わせ、急用のご連絡には [t-itoh@hkg.odn.ne.jp](mailto:t-itoh@hkg.odn.ne.jp) に宛ててください。

## 会員のみなさまへのお願い

姓、住所、電話、メールアドレスを変更された方は、速やかに同窓会宛連絡願います。

新規ホームページから送信できるようにしてあります。

郵便なら・・・ 〒615-8111京都市西京区川島松園町7 中野宛に連絡願います。

中野雅央(S35卒)